

教育研究研修センターだより



通巻 No.284

令和5年5月15日(月)発行

令和5年度を迎えるにあたり

第1回校長会(令和5年4月14日開催)

三宅泰司 教育長挨拶

令和4年度末の人事異動により、小学校19名、中学校11名の新しい校長先生をこの会にお迎えしました。これまでの経験を生かし、学校の最高責任者としてご活躍くださいますようお願いいたします。また、既に校長としてご活躍いただいている先生方には、新たにお迎えした先生方とともに、岡山市立学校の教育の充実のために一致協力して、ご尽力を賜りたいと存じます。

また、本年度は4年ぶりに対面での辞令交付式を行うことができました。新規採用者172名(小学校100名、中学校52名、養護教諭5名、事務職員6名、栄養教諭1名、給食調理員3名、用務員2名、幼稚園は除く)に辞令が交付されました。既に各校で新鮮な風を送り込んでくれているものと思います。

現在、教職員の大量退職・大量採用の時代に入り、若手教職員の育成と経験豊かな教職員の指導技術等の伝承が急務となっています。校内で先輩が若手へ「技と思いの伝達」が行えるようなOJTを推進し、ともに学び合える職場となることを期待しています。「教職員のスキル」の向上にも関連しますが、新しい教育研究研修センターの整備に向けた動きが本格的に始まります。整備予定地を北区富吉としており、昨年度末に策定した基本方針をもとに、令和8年度内の供用開始を目指します。新しいセンターが教職員の資質能力を高めるために必要な機能を備えることはもちろんのこと、市民から愛される施設となるよう、準備を進めてまいります。

本日は、年度初めにあたっての私の思いや取り組んでいただきたいことについて、6点お話しいたします。

1 教育の方向性について

岡山市では、市民協働で「自立に向かって成長する子ども」を育成してきました。特に、令和3年度からは、「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども」の姿と重ね合わせ、育成に向けて取り組んでいます。

各学校においても、教育大綱で示された「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」の5つの力の育成に取り組んでいただいています。岡山市の指標として目標値も設定しておりますので、各学校の特色に応じた定量的な指標を追加設定し、取り組んでください。3年続くコロナ禍で、子どもたちはマスクを着用し、表情が見えにくく、他者との関わりや体験の機会が減少した中で生活してきました。だからこそ、互いの感性や考え方に触れ、刺激し合うことの重要性を改めて感じているところです。

そこで、令和5年度からは、「やる気につながる好奇心」を学びの原動力として醸成すること、また、それを支える「教職員のスキル」の向上、「安全安心で快適な学びの環境」の整備に重点的に取り組んでいくこととしました。これらによって、教育大綱で示している5つの力を子どもたちが身に付け、世の中に出たときにそれぞれの立場で社会に貢献し、自分も他の人も幸せになれる世の中を創っていただけるよう、各学校の取組を進めていただきたいと思います。

2 人権教育等について

教育の基盤は、人権尊重が徹底している環境です。子どもたち一人一人が、大切にされていることを実感しながら生活し、自分とともに他者を大切にできる力を育むことができるよう、引き続き、教育活動全体を通じて人権尊重の精神に立った学習活動、人間関係づくり、教育環境づくりに取り組んでいただきたいと思います。

3月には、文部科学省から新学期におけるマスクの着用等についての方針が示され、新型コロナウイルス感染症予防のためのガイドライン(岡山市版)を改訂したところです。新学期以降の学校教育活動においては、マスクの着用を求めないことを基本としています。一方、基礎疾患があるなど、様々な事情により、感染不安を抱き、マスク着用を希望する児童生徒が一定数いると考えられることから、マスクの着脱を強いることのないようお願いいたします。また、マスク着用の有無による差別、偏見等がないよう、別途通知した資料などを参考に、教職員が人権感覚のアンテナを高め、児童生徒に対して適切な指導ができるよう、全教職員で共通理解を図っていただきたいと思います。児童生徒への基本的な感染症対策の指導、感染症対策を講じた学習活動の工夫など、子どもたちが安心して通うことができる学校運営をよろしく願います。

3 学力保障及びGIGAスクール構想について

昨年度、岡山市立すべての学校の統一した取組である「授業これだけは！」を改訂し、「授業これだけは！+PLUS」を作成しました。他者との関わりを通して、自分の考えを広げ深める学習を充実させることと学びの過程を振り返る場面を設定することで、子どもたちの「やる気につながる好奇心」を引き出し、資質・能力の育成を目指します。各学校の授業改善に活用してください。

また、GIGAスクール構想3年目となる今年度は、ICTを効果的に活用した授業を実現する教員として「使いこなす」を目標に、さらなる端末の活用を進めていただきたいと思います。また、児童生徒の情報活用能力育成に向けて、授業での効果的な活用とともに、長期休業以外にも端末を持ち帰り、家庭学習で積極的に活用するなど、取組を進めていただけたらと思います。教育委員会としても、できる限りの支援をまいります。

4 特別支援教育等について

特別支援教育については、「岡山市立小・中・義務教育学校における特別支援教育推進グランドデザイン」で示しているように、「インクルーシブ教育システム」の構築を目指します。「障害のある子どもと、障害のない子どもが、できる限り同じ場で共に学ぶ」という考え方が浸透しつつあります。各校でも引き続き、すべての教職員で行う特別支援教育を推進していただきたいと思います。

問題行動等の防止及び解決については、各校で未然防止及び早期対応に向けて、懸命な取組を進めていただいていることに対して改めて感謝申し上げます。一人一人の子どもたちにとって、学校が安心して活動できる場となるよう、子どもの正しく前向きな行動を積極的に認め、しっかり褒め、不適切な言動に対しては適切に指導することを通して、子どもたちの健全育成に粘り強く取り組んでいただきたいと思います。

また、いじめや不登校への対応については、今年度も引き続き、未然防止に向けた全校共通の取組とともに家庭や関係機関との連携をお願いします。

5 働き方改革について

令和5年3月に策定した「岡山市立学校園における働き方改革推進方針」は、推進方針4本の柱に基づいて取組を進め、ワークライフバランスを実現することにより、教育の質の向上を図っていくこととしております。校長先生方には、管理職として働き方改革について様々な議論をリードしていただくことが大切です。また、仕事のやり方としては、時間を決めて仕事をし、帰る時間を意識することで、仕事の進め方や意識も少しずつ変えていけるものと考えます。

また、今年度より岡山市公式LINEからの全校で統一した保護者連絡ツールを導入しています。多くの保護者に登録していただくことが、保護者の負担軽減と教職員の働き方改革となります。校長先生方には、学校での活用を推進していただくよう、お願いいたします。保護者連絡ツールに加えて、学校閉庁日5日への試行拡大、給食費の公会計化などの取組を、教育委員会と学校が両輪となって進めていきたいと考えます。また、教育委員会では、引き続き働き方改革ワーキンググループ会議で、今後の進め方等をしっかりと議論してまいります。

先日は、保護者・地域宛の通知をお願いしたところですが、PTA 総会や学校園運営協議会でも、チャンスを狙って、働き方改革について話題に出していただきたいと思います。働き方改革を進めること、また、PR していくことが、教育の質の向上や人材確保につながると考えていますので、引き続きよろしくをお願いします。

6 服務規律の徹底について

報道にもありましたが、懲戒免職処分としたり口頭厳重注意としたりする事案が発生しています。岡山市ではこれまで度重なる指導と研修等を行ってきているにもかかわらず、このような事案が立て続けに発生していることに強い危機感を感じています。

これらは岡山市の教育に対する信頼を大きく損なうものであり、その信頼を回復させることは我々にとって急務です。とは言え、それは一朝一夕にできることではありません。各学校園におかれましては、引き続き、教職員が自分ごととして捉えることができる研修となるよう、様々な工夫をしていただきながら不祥事防止の研修や指導を重ね、教育公務員としての自覚の高揚を図っていただくよう、改めてお願いします。

また同時に、職場の同僚性を高め、上司、同僚間のコミュニケーションの充実を図り、お互いが相談し、支え合い、一人で抱え込むことのないよう、風通しのよい職場をつくっていただけるようご配慮いただき、所属の教職員に一層のご助言やご指導をいただければと思います。

おわりに

最後になりましたが、校長先生方にはお力を遺憾なく発揮され、存分にご活躍くださいますことを期待しております。一方で、校長先生方のお仕事は激務でございます。くれぐれも健康には十分ご留意いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

岡山市教員等育成指標で 目標を明確に!

キャリアステージに応じて 必要な資質能力を身に付け 岡山市が目指す教職員を育成します



キャリアステージ	必要な資質能力	目指す教職員像
採用時	I 教職に必要な素養	学び続ける教職員 情熱 人間力 力量
基礎形成期	II 学習指導	
向上期	III 生徒指導	
充実期	IV 特別支援	
深化・発展期	V ICTや情報・教育データの活用	

情熱、力量、人間力を有し、
学び続ける教職員

「岡山市教員等育成指標」(平成29年12月策定・令和5年3月改定)から「教諭」を抜粋



まずは、今の自分のキャリアステージで、どんな力が求められているのかを確認しましょう。
そして、今年度、どんな力をつけていきたいのか、自分の目標を明確にしましょう。

今年、採用から4年目だからキャリアステージII(向上期)の欄を見ると・・・
けっこう高い力が求められているなあ。
今年、ICTの特性・有効性を生かして、授業の中で効果的に「ICT」を活用する力を身に付けたいな。



目標をもって、**主体的に** 学ぶことができるといいですね!

「岡山市教員等育成指標」は、C4th書庫>教育研究研修センター書庫に掲載しています。

映像資料

先輩から学ぶ Vol.3

NEW

～ ICT を効果的に活用した授業づくり～



Chromebook
で視聴できます。

- ① **研修講座受講のためのアカウントとパスワード**
(校長用) (副校長・教頭用) (一般教職員用) のいずれかを入力する。
- ② Classroom をクリックする。
- ③ 「先輩から学ぶ Vol.3 【映像資料】 ～ ICT を効果的に活用した授業づくり～」の Class をクリックする。
- ④ 視聴したい動画をクリックする。

令和5年3月に映像資料「先輩から学ぶ Vol. 3～ICTを効果的に活用した授業づくり～」を Classroom に掲載しました。ICTを活用している授業の様子、ICT活用の工夫や手応えを授業者が語る様子等を収録した映像資料です。資質・能力の育成につながる効果的なICTの活用について学ぶことができます。各内容をそれぞれ15分程度で収録しているので、学びたい項目を短時間で視聴することができます。

【小学校】第1学年 国語

【小学校】第4学年 外国語活動

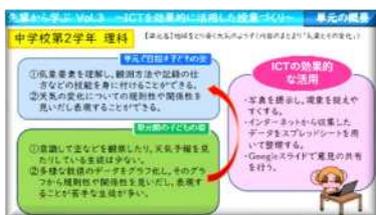
【中学校】第2学年 理科

【中学校】第3学年 数学

4本の授業実践が
視聴できるよ

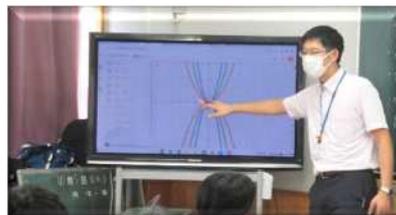


【 映像資料の視聴ポイント 】



【 単元の概要 】

「単元前の子どもの姿」を
「単元で目指す子どもの姿」
にするための「ICTの効果的な活用」について説明しています。



【 授業の様子 】

ICTを効果的に活用している場面や活用を通して目指す姿へと変容する子どもの様子を見ることができます。



【 授業者から 】

授業者の「ICT活用の工夫や手応え、これからの活用」についての語りです。
活用のポイントが分かります。

映像資料「先輩から学ぶ」・「先輩から学ぶ Vol.2」もぜひご利用ください！

映像資料「先輩から学ぶ ー授業の基礎・基本ー」(DVD) は岡山市内全小・中学校に配付しています。(令和3年3月)

映像資料「先輩から学ぶ Vol.2 ー特別支援教育の視点を生かした授業実践ー、一朝の会、給食など学校生活における指導や支援ー」は「先輩から学ぶ Vol.3」と同様の手順でChromebook から視聴できます。(令和4年3月)

